

京都・済州教区交流の日（京都教区独自の特定献金、2025 年は 6 月 1 日）

京都教区と韓国の済州教区は、2005 年 6 月 7 日に姉妹教区の縁組をし、司祭・神学生・信徒間の交流が行われています。これを記念して、京都教区は毎年 6 月を姉妹教区交流月間としています。これらの活動を支えるために、交流月間である 6 月の第 1 日曜日に献金をお願いしています。

大塚司教様のメッセージより

姉妹教区縁組の意義は、「初代教会から受け継いだ神の民の交わりを深めること」にあります。日本も韓国も 2000 年のカトリック教会の歴史の中では、宣教の歴史は浅く、まだ小さな群れです。しかし、この神の民の小さな群れも、神の民の交わりによって「一致と希望と救いのもっとも堅実な芽生え」になることができるのです。

その意味で「済州教区・京都教区姉妹教区」縁組は、大きな意義とまた大きな使命があります。